

発行：ひたちなか市の環境を良くする会  
 会長 小川 和 昭  
 編集：広報委員会  
 監修：ひたちなか市環境政策課  
 TEL：029-273-0111 (内 3312)

# 環境から版

## 消費生活+ハーモニー展 2022



間伐竹がぶんぶんゴマ・万華鏡・竹ぽっくりに変身、子どもたちを笑顔に！

11月5日、6日に総合運動公園でひたちなか市産業交流フェアが3年ぶりに開催されました。

本会も屋内会場の総合体育館“消費生活+ハーモニー展2022”にブースを出展しました。『竹の間伐材で工作』のぶんぶんゴマと万華鏡の工作コーナーは両日とも多くの来場者で賑わいました。

友人同士で訪れた市内在住の中学1年生は、竹のぶんぶんゴマを手に取り「ぶんぶんゴマを回したことはあるけれど竹のコマは初めて見ました」「切った竹を捨てないで利用するのがいい」小学生の時、地域のおじいさんたちが昔遊びを教えに来てくれて以来、久しぶりにやったけど楽しい」などと笑顔で応えてくれました。



段ボール箱で生ごみ処理！

段ボールコンポストの見本展示では熱心にスタッフに質問する姿が見られました。100部用意したチラシは足りなくなり、関心の高さがうかがえました。

緑のカーテンのコーナーでは『アクリルたわしやスポンジの代わりにヘチマたわし』と銘うち、会員が栽培したヘチマで作ったたわしを展示しました。ヘチマは緑のカーテン・食用・たわしなど利活用範囲が広い植物として紹介され、来場者は珍しそうに手に取っていました。ヘチマの種は2日目に100袋追加するほどの盛況ぶりで午前中には配布終了となりました。

12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	14 海の豊かさを 守ろう	15 陸の豊かさも 守ろう	17 パートナリシップで 目標を達成しよう



両日とも家族連れで賑わいました



間伐竹が花器に！



希望者に先着でプレゼント

# ごみ問題分科会 久々に開催

6月25日（土）、9月29日（木）

にごみ問題分科会を開催しました。

分科会は、段ボールコンポストの普及とストップ使い捨ての啓発活動を続けていきましたが、新規入会者の登録を機に、休止していた会議を再開しました。会議では、以下のようなごみの問題に関する意見、疑問、提案が出ました。

- ・資源ごみをたくさん出すほど自治会の収入になるが、ごみを減らしたら何か特典があるような仕組みを作れないか。
- ・廃棄物対策課作成の食品ロスを減らすポスター（左図）の内容が素晴らしい。

除草した雑草を焼却ではなく、土に戻して循環させるような仕組みができるとうい。

- ・「おしゃれなごみ削減」（容器持参の洗剤量り売り、コーヒーのマイカップ等）は広い世代に関心を持ってもらいたい。
- ・ごみの回収、処理に税金が使われていることに関心を向けたい。
- ・高齢者の健康体操の後に「日用品引き取り会」を行っている。子育て世代が「お下がり交換会」を始めた。

- ・環境かわら版に、ごみ削減トークのようなコーナーを作り発信するのもよい。
- ・ごみの出し方を知らない人がいる、ごみの出し方のパンフレットが理解されていないのではないのか。

- ・子どもたちは学校でSDGsについて学んでいる。子どもたちと海岸をウォーキングしながらごみを拾う活動をしたい。
- ・ごみ拾いを、宝物拾いと言って活動している団体がある。
- ・通学路の清掃を行い、拾ったごみの数量を記録している。

- ・段ボールコンポストの容器を、木箱にしたり、タンスの引き出しの



**食品ロスをなくしましょう！！**  
 ごみ袋に入れて並べると地球約7周分※

日本では毎年**570万トン**の食材が捨てられています。これは日本人一人当たりだと年間約**45kg**。

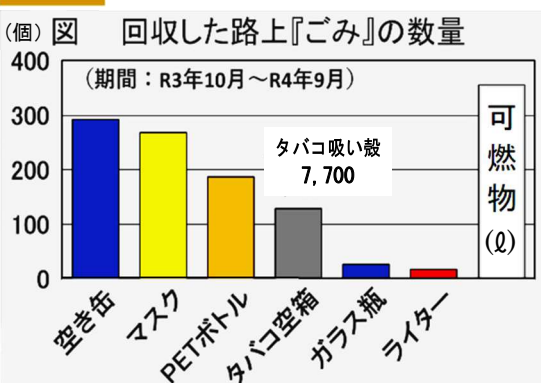
毎日お茶碗約1杯分(約124g) **×365日** となします。

大切なのは、一人一人が「もったいない」を意識して行動することです。**残さず、おいしく食べ切きましょう！**

ひたちなか市 廃棄物対策課

利用も可能。不織布のトートバッグ型のコンポスト容器も市販されている。

## 路上の不法投棄『ごみ』のゆくえ



地球環境問題のとりくみを「できることから始めよう」と、私は東京の大江戸清掃隊の体験をもとに、近くの市道（約900m）とその周辺で散歩しながら歩道と車道端の『ごみ』をここ10年拾ってきました。

拾った『ごみ』には飲料用の空き缶、ペットボトル、ガラス瓶があり、軽く洗って市の資源回収に出します。またタバコの吸い殻や空箱、プラスチック包装、紙・布製品、廃ティッシュなどはまとめて市から貰えるボランティア向けのピ

ンクの可燃物袋(45ℓ)に入れて計量し、市に回収を依頼しています。左上の図は、最近1年間に拾った『ごみ』のそれぞれの個数と可燃物の容量を示しました。

最も多かったのは空き缶。マスクはコロナ禍の影響で、ここ数年急激に増えた『ごみ』です。これらの『ごみ』は主に、外出中などに買った飲食物の容器やその包装などが心なく捨てられたものと考えられます。『ごみ』を放置すれば、街路が汚染し、美観が損なわれ、道路衛生管理上の問題となります。また、ごみの町は、子供たちの環境教育を妨げることになるでしょう。

上図の状況から、市の道路全体ではその数量が思いやられます。街路の『ごみ』は、ひいては沿岸の環境や海洋生物にも悪影響を及ぼす可能性があります。また、何よりも地球上の資源の損失に加え、ごみ処理経費増と人手のムダではないでしょうか。

外出中に買った物の包装物を捨てれば困った『ごみ』になります。持ち帰れば宝の『資源』になります。ポイ捨てをやめましょう。(会員)

今後は、来年度に向けて、具体的な活動計画を立てることになりました。

12 つくる責任  
つかう責任



大島中学校二年生

SDGs 授業で「段ボールコンポスト講習会」

大島中学校から総合的な学習の時間での体験学習として段ボールコンポスト講習会の依頼を受け、10月28日と11月16日に実施しました。

コンポストの中の微生物が生ごみを分解するときに出る二酸化炭素を確かめる実験を交え、段ボールコンポストのしくみをスタッフ2人の掛け合いで説明しました。中学生はメモを取りながら熱心に耳を傾けていました。段ボール箱の組み立てや基材の混合では単純な作業にもかかわらず、楽しみながら取り組む様子が印象的でした。

午前中に受講した生徒は、早速昼休みに給食の残さいを入れていました。講習の中でフードロスについて触れ、「残さいをコンポストに入れるからといって、食べ残しはなるべくしないでおいしくいただきますよ」と話しました。給食後に担任の先生から「生徒たちが『今日の話を聞いたら食べ残しちゃだめだね』と言いつつ、給食のご飯の残りがとても少なかつたんですよ」と伺い、大変うれしく思いました。

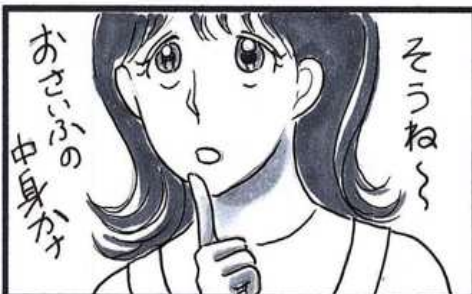
この講習を通じて若い世代に物を大切にすることが育ってほしいと思います。生徒たちの感想「家でもやってみ

たい」「身近なもので環境活動ができるのが、わかってすごくよかった」「これからの総合学習にいかしたい」「段ボール箱に愛着を感じ名前をつけました」。



段ボール箱名「松島師匠」  
（「小松菜」「松」「大島中」「島」）

段ボールコンポストは、これから生徒たちがデータを取り管理します。その報告は次号でお知らせします。



「とばりサイクルパーク」訪問記 (前編)

10月中旬、私は大学の実地調査で三重県鳥羽市を訪れ、個人的関心から「とばりサイクルパーク」に立ち寄り、貴重なお話を聞きました。ご多忙にもかかわらず、代表の中村様や施設の皆様は温かく接してくださいました。見学から学んだことを紹介します。

「とばりサイクルパーク」は、NPOとばりサイクルネットワークが運営する施設です。家庭から出された生ごみを堆肥ケース「ひなたぼっこ」を用いて堆肥化する取り組みや、家庭のリサイクルごみを受け入れ再資源化につながるなど、資源循環型社会の実現を目指しています。他にも、家庭の不用品を販売するリユースショップ「もったいないやん」の運営、環境教育などに力を入れていきます。活動拠点のリサイクルパークは市民交流の場となっています。

(戸田 雄毅)

当日は「もったいないやん」まつりで、その盛況ぶりに圧倒されました！お皿や衣服、引き出物などリユース商品が破格で売られ、30分もしないうちにすっかり売り切れていました。他にもおもちゃ、子ども用品があり、多くの親子連れで賑わっていました。この日の目玉商品は、ひなたぼっこ堆肥で育った有機ショウウガです。値段は一束なんと300円！販売前から長列ができていて、目当てのショウウガを購入していました。リサイクルパークの堆肥で育った野菜はひなた野菜と呼ばれ、スーパーより安く、無農薬だから安全で、何より新鮮です。こうした有機野菜は農家さんが趣味で作っています。私も里芋一袋を100円で買うことができました。先着50名無料配布の堆肥もあっという間に無くなりました。

# 活動報告



簡単そうに見えるが実は技ありの枝打ち。  
一打で枝を外せたときの爽快感は作業の醍醐味。

里山を守るために森林保全活動を行っています。  
10月から翌年3月まで、第3土曜日午前中に美田多町風致地区の竹林で活動しています。(雨天中止)

今年度最初となる森林保全活動を10月15日午前9時30分から行いました。枯れた竹や木を伐採しても、2~3年経過するとまた生えてきますので毎年の手入れが必要です。今回は12名が参加、初めて参加した女性が器用に電動鋸を使って竹を伐採、楽しんで作業に参加していました。

会のブログの「イベント」欄に活動を掲載してあります。

<https://ameblo.jp/hitachinaka-kankyou/>



## 国営ひたち海浜公園パークパートナー活動

9月23日に海浜公園の砂丘美化パートナーグループと一緒に総勢20名で沢田湧水地の水田の稲刈りをし、古民家の近くにおだかけをしました。

## 那珂湊漁港のごみ拾い活動

10月22日に那珂湊漁港でマイクロプラスチックによる海洋汚染を抑制するため、ごみ拾いを16名の参加者で行いました。燃やせるごみ103kg、燃やせないごみ31.7kgを拾い、市に回収を依頼しました。

## 休耕地の有効活用 そば栽培体験

8月20日にそばの種まき作業を行い、11月に収穫を行いました。種まきから収穫まで8日間、参加者延べ78名で行い、収穫量98kgの豊作でした。

写真は唐箕とうみを用いての選別作業。見慣れぬ農機具に初参加者は興味津々です。

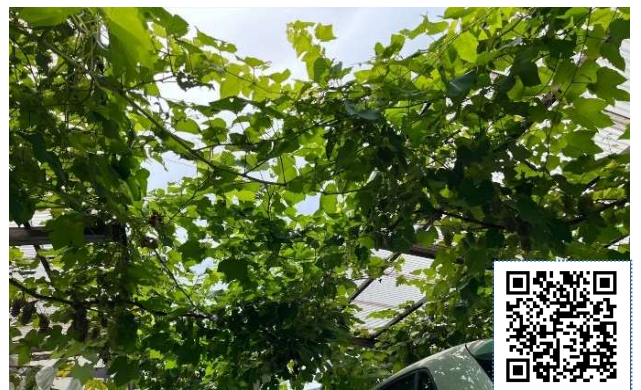


唐箕は昭和20年代製造、今も現役です!

## 緑のカーテンでエコチャレンジ

温暖化防止・省エネ・節電に向けて、緑のカーテンの普及活動を行っています。

今年は79件の応募がありました。毎年いろいろな植物を緑のカーテンにする参加者がいます。(下のQRコードから応募の写真や感想を見ることができます。)



「今年で3年目。沢山採れたのでお裾分けしました」  
車庫の屋根に広がるのはフドウ(テラウエア)の棚。

~~~~~ ひたちなか市の環境を良くする会 事業所会員の紹介 ~~~~~

|                                                                     |                                                            |                                                         |                                                                         |                                                                                                 |                                                   |
|---------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| <p>HiKOKI<br/>工機ホールディングス(株)</p>                                     | <p>リコーインダストリー(株)<br/>勝田事業所<br/>www.industry.rioh.co.jp</p> | <p>KOMATSU<br/>コマツ 茨城工場<br/>www.komatsu.co.jp</p>       | <p>社会福祉法人<br/>新世会<br/>いくい苑</p>                                          | <p>私たちは、<br/>美しい地球を次の世代へ!<br/>のスローガンのもとに、一丸となって地球環境の継続的改善と環境汚染予防活動を推進しています。<br/>磯日立製作所水戸事業所</p> | <p>人と自然への思いやりを大切に<br/>勝田環境<br/>KATSUTA KANKYO</p> |
| <p>Bio Power<br/>木質バイオマス発電所(株) バイオパワー勝田<br/>www.bio-power.co.jp</p> | <p>はなのお幼稚園<br/>Hanano no Kindergarten</p>                  | <p>廃棄物の中間処理施設<br/>株式会社 カツタ<br/>www.eco-katsuta.com/</p> | <p>ガーデン・エクステリアのデザイン・施工<br/>Maki planning<br/>www.maki-planning.com/</p> | <p>プロが選ぶガーデン雑貨の専門店<br/>Mam's garden<br/>www.makipla.com/</p>                                    | <p>マルハチロシーフーズ株式会社<br/>ひたちなか市和町3丁目13400番地2</p>     |